

授業科目

特別研究

担当教員名 各指導教員	対象学年	2	対象学科	医療情報
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	10	時間数	150

授業の概要

学習習得した医療情報処理または医療経営に関する知識と技術を駆使して修士論文を作成する。

授業の目的

習得した保健・医療・福祉学の知識、疫学統計の知識等を駆使して調査・研究を行い修士論文を作成する。
科学論文の形式を遵守して新規性の高いテーマに対して高度な調査法および解析法を駆使して論文を作成する。

学習目標

1. 仮のテーマを選定する
2. 上記の仮テーマに関する先行研究を偏り無く収集しレビューする
3. 本テーマを確定し仮説を設定する
4. 研究計画書を策定し、必要に応じて倫理委員会の承認を得る
5. 研究を実施しデータを収集する
6. データを整理しデータクリーニング（欠損値処理、異常値処理）を行う
7. データ解析を行う
8. 中間発表を行う
9. 論文を作成する

授業計画

授業計画・学習の主題	担当教員
院生の研究内容に応じ個別に実施する。 なお、全ての研究において中間発表を行う。 また、論文発表会で自己の研究を発表しなければならない。	各指導教員

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格
教科書					
参考書					
その他の資料	分野長が作成した Google drive 疫学&統計reference(下記サイト)を参照のこと https://drive.google.com/drive/folders/0B3PYdxQv0EWiWlJhN2hVeUVzSDg?usp=sharing I 疫学デザイン II 基本的統計手法 III トレンド分析 IV 多変量解析 V 特殊な統計(質的解析、地域集積性等) VI ポスター作製 VII 原著論文例	瀧口徹			

評価方法

提出された論文を論文審査の内規に基づき、主査、副査2名で審査を行い最終的に主査が判定を行う。詳細は内規参照。

履修上の留意点

- 1) 倫理委員会：2年で終了するためには遅くとも年内に実施計画書が出来、介入研究やアンケート調査等倫理審査が必要な研究デザインの場合は出来るだけ早く倫理委員会に申請書を提出しパスする必要がある。本学の倫理委員会の場合は毎月第1火曜日に例会が開かれるため、それに先立つ1週間前に申請書、研究計画書を指導教員を介して（承認と認証を得て）提出する。そのため指導教員と連携を密にし着実に準備する必要がある。
- 2) 特殊なデータ入力法により、より経済的に時短で行えるので相談すること 例 マークシート方式 データの電子化に際してのエクセルのマクロ機能 OCR
- 3) 特殊な統計が必要な場合は相談すること 例 文書データの質的分析 (KH Coder) マップデータの地域集積性 (regional clustering)
- 4) 卒業論文は修士課程の場合、書下ろし型が一般的だが投稿型にする場合は指導教員に相談すること
- 5) 書下ろし型卒業論文は可能な限り1年以内に投稿論文とすること

オフィスアワー・連絡先

各教員に問い合わせること